

チャンス・チャレンジ・チェンジ



秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

「高等学校特別支援隊」活動報告

特別支援学校や障害者就労支援機関、相談機関がチームを組み、高等学校のニーズに応えるために、今年度発足した「高等学校特別支援隊」（県央地区）の活動を紹介します。

1 活動内容

(1) 支援を必要とする生徒の実態把握と指導方法

- ・アスペルガー症候群の特性と関わり方
- ・弱視生徒への指導と卒業後の進路
- ・感情をコントロールすることや集中力に課題がある生徒への有効な手立て 等

(2) 校内研修会の開催（主なテーマ）

- ・「特別な支援を必要とする生徒への支援」「発達障害の困り感」「校内体制の整備」等

(3) ボランティア養成講座→講義：「障害理解と支援」 疑似体験や車いす体験

2 事例紹介

(1) 弱視生徒への配慮と卒業後の進路

→盲学校の先生に加わってもらい、携帯型読書機、タブレット端末、デジカメの機器の利用、書見台や蛍光灯の使い方、板書の配慮点についてアドバイスをした。夏休みには盲学校で教育相談を行い、見え方の検査や進路に関する情報交換を行った。

○相談できる機関が見つかり、本人も保護者も安心できた。

(2) 感情をコントロールすることや集中力に課題がある生徒への有効な手立て

→知能検査を実施して、その結果を本人や保護者に伝え、自己理解・子ども理解を促す機会を設けるとともに、本人・保護者と学校の思いが重なるように「個別の指導計画」を作成した。生徒には怒りを鎮める方法やリマインダーの工夫を一緒に考えた。

○自分の育て方が悪いと自責の念にかられていた母親の気持ちが楽になった。本人が自分の特性を理解することができ、苦手さをカバーする意欲が出てきた。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・支援隊の誕生により、チームでの対応が可能になり、より専門的なアドバイスが実現した。
- ・支援隊が浸透するにつれて、昨年度よりも依頼する高校が増えた。特に、初めて依頼する高校が多くなった。

(2) 課題

- ・校長会や特別支援コーディネーター研修会等で支援隊のPRをしているが、活用を増やすためには、依頼を待つのではなく、積極的な仕掛けをしてニーズをつくる。
- ・支援隊を活用して、「子ども・保護者・学校が変わった」ことが実感できるように具体的でより専門的な支援を目指す。
- ・高校から就労先や進学先に「支援のバトン」がにつながるシステムを構築する。